

農村女性リーダー ネットワーク通信 20号

H23年8月

農村女性リーダーの皆さん、こんにちは！

今年の夏も例年になく厳しいですね。こんな時期は体調を崩しやすいですが、リーダーパワー元気いっぱい暑さを吹き飛ばしていきましょう。

平成23年度、第1回目のネットワーク通信です。今号は、総会の内容を中心にご報告します。

総会を開催しました

平成23年5月19日（木）高知市春野文化ホールで、平成22年度高知県農村女性リーダーネットワークの総会を開催いたしました。農村女性リーダー38名、普及指導員等10名が出席しました。

柳村三代子さん（高知）の司会で総会は進められ、会長の田村早智さん（高吾）の開会の挨拶あと、高知市の安藤保彦副市長から農業経営・技術に女性の視点を活かし食料生産の担い手として寄与してほしいとのご祝辞をいただきました。

続いて協議に入り、次の内容を検討しました。

- ・ 平成22年度事業報告
- ・ 平成22年度会計報告
- ・ 平成23年度の取り組み方向と実施計画、予算
- ・ 平成23年度執行体制

順に役員から説明があり、平成22年度事業報告では、「地域の元気は女性がつくる」と題した金丸弘美氏の講演、米粉を使った調理実習、愛媛県での先進視察研修やテレビ会議システムを活用した遠隔会議研修などの報告がありました。

平成23年度活動計画では、TPPに関する学習会や県域でのフォーラムの開催などのお話があり、全ての議案は承認されました。

新旧役員交代

新旧役員から挨拶がありました。旧役員の皆様一年間ありがとうございました。新役員の皆様今年度もよろしく願いいたします。

◆新役員を紹介します

平成23年度の役員の皆さんです。

会長	西笛千代子（安芸）
副会長	山岡美千代（中央西）
副会長・会計	島田聖子（高知）
監事	有瀬真理（中央東）
委員	澤田智恵（嶺北）
	矢野 靖（高吾）
	居長原信子（高南）
	山本美加（幡多）

2ページの新役員さんのひとことメッセージも見てくださいね。

新農村女性リーダーの紹介

平成22年度に認定された、農村女性リーダー4名の紹介がありました。

芸西村・川田寿美子（ナス・水稻）

高知市・山本百合野（花き（ユリ等）・水稻）

日高村・森下千鶴子（トマト）

土佐清水市・山本美加（ナバナ・ラッキョウ）

総会に出席したのは、土佐清水市の山本美加さんおひとりでしたが、ネットワークの活動に積極的に参加してどんどん輪を広げてください！

新リーダーの皆さんよろしく願いします。

新事務局の紹介

4月から事務局となった環境農業推進課チーフ（技術経営担当）の武井久さんから自己紹介がありました。

また、農村女性リーダーの育成を目的に「NPO法人とさはちきんねっと」に5年間業務委託をしましたが、平成22年度で終了しました。

本年度からは5年間で学んだスキルを地区のネットワーク活動（地区学習会、農政懇談会）に活かしてほしい。地区学習会では、講師をよぶ予算もあるので、農業振興センターに相談してください。県域の活動として、男女共同参画推進フォーラムを開催することを計画しているなどのお話がありました。

活動報告発表

◆各地区等からの活動報告

各地区やパソコン同好会「たんぽぽ」、べっぴんさんの新鮮野菜市から活動報告がありました。

なお、平成22年度農村女性リーダー活動事例集「地域で輝く女性たち」には、各地区から報告がありました活動が掲載されていますのでご覧ください。

◆意見交換

活動報告のあと、須崎地区から地区委員が選出されなかったことについて、会場の意見をお聞きしました。

会場からは、須崎地区だけの問題ではない。特に若い世代が出にくいことはわかっている。各地区の年齢層は様々なので、カバーし合いながらやっていたらと思う。自分はネットワークを育てながら、自分も育とうと思っている。ネットワークができ7、8年立つが、原点に戻り「受け入れる」「どうしたらよいか皆で考える」ことが大切である。緩やかな組織であったはずである。皆で受け入れる集まりにしたい。などの意見がだされました。新役員からは、事務局とで須崎地区に伺い、話を聞いたうえで、今後の対応策を検討するとのお話がありました。

また、野町亜理さん（安芸）からは、昨年女性農業リーダー全国会議に出席させてもらった。他県の参加者と話をしてみると、高知県は学習するチャンスが与えられていることが分かった。

安芸市で農業委員をしているが23名中女性は2名、半数は女性なのに女性は参画できていない。農業委員の改選時には断らないようにしよう。農業委員会のテーマは遊休農地や農地だけではない、女性の視点を活かせばいろいろな役割がある。との意見発表もありました。

情報交換会

総会終了後には、県内各地から自分たちの素材を使っての料理、お菓子などを持ち寄って、楽しい情報交換の時間となりました。さすが女性リーダーさんならではのアイデア料理が揃いました。

新役員ひとことメッセージ

立ち止まっていたら背中を押してください。一年間よろしく願いいたします。

（安芸・西笛千代子）

皆さんと楽しく交流していきたいと思いますので、よろしく願いします。

（中央東・有瀬真理）

私は嶺北で米と和牛繁殖経営を営んでいます。21年前に初めてリーダーになった時には、県下の農業女性達の出会いに「こんなに素晴らしい人がいる」と感動し、すぐさま電話を掛け合ったり、再会を待ちわびたものでした。今回はやむを得ず役員になって会に行ってみると皆さんは若くて行動的です。私も、もう一度皆さんの元気をいただきたいと思いません。どうかよろしく願いします。

（嶺北・澤田智恵）

初めての地区委員でわからないことばかりです。こうなったら、西笛会長についていだけます。

よろしく願いします。

（中央西・山岡美千代）

私は今年2年目の役員になります。会への参加もそこそこだった私ですが、今回、農村女性リーダーとは何かを勉強し直すチャンスになり、大変良かったと思います。役員となり、みんなと触れ合い、課題を出し、話し合ったりする中で、具体的なテーマや目標を持ち、地域の中から行動を見える形にしていくことが大切ではないかと感じています。

（高知・島田聖子）

地区委員になっての新たな出会いを大切にし、繋がりを広げていきたいと思えます。

（高吾・矢野 靖）

私がリーダーの認定を受けて10数年になります。もうそろそろ「引退する時期かな」と思っているやさき、「代表に」って言われ、とまどいを覚えながらも引き受けてしまいました。

年寄りみたいなことを言うようですが、時代と共にリーダーさんの認識も変わり、活動自体も変わってきたように思われます。農業を取り巻く情勢や農家の生活様式の変化もその一因かとも思われます。

いろんな意味で、多様化してきているように思われ、活動していく困難さをつくづく感じます。最近特に地域での活動の難しさを痛感しています。

今からの課題として、いかに地域での活動をしていくか、リーダー自身が地域での役割をどう思っているか、考え直す時期だと思うのです。私としてもこの一年がいい機会ですので、今までのことを見直し、これからの活動を探る一年にしたいと思います。口はばったいようですが、地域あつての自分達ですので、もう一度、地域を考える一年にしようではありませんか、この一年よろしく願います。

(高南・居長原信子)

初めまして、幡多地区委員の山本美加です。先輩のリーダーから、沢山のことを吸収して成長していきたいと思しますので、よろしく願います。

(幡多・山本美加)

☆～☆～☆～☆～☆～☆～☆～☆～☆～☆

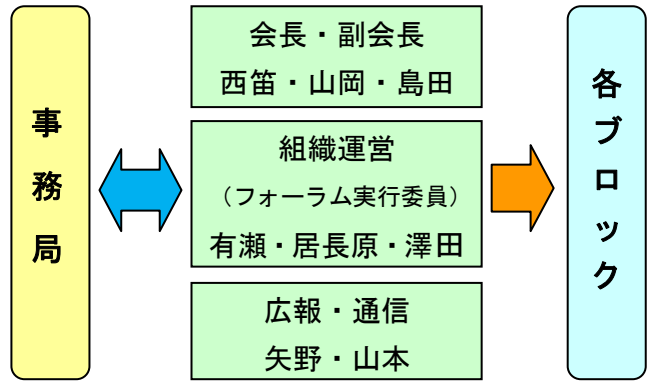


『そよかぜウオッチング in 野市』 中央東地区そよかぜの会 江本 美江
 6月16日、梅雨らしい日々が続いている中、毎年恒例の『そよかぜウオッチング』が行われました。毎年、各地区（旧市町村単位）で、研修内容を計画。今年は、野市地区の5名が担当。自分たちの地区を案内しながら、ほ場見学や、名所・旧跡などを訪ね歩くというもの。リーダーの研修の中でも、とても人気があり、今年は何かと多忙な中でも14名が参加。“来たかったけど、どうしても都合がつかざった…（涙）”という声も聞こえてきました。

研修内容は、まず、JA土佐香美野市支所・出荷場見学。出荷場を統括するセンター長の説明で、今が旬の『早堀甘藷』や『シトウ』のパック詰め作業、5℃の冷蔵庫の中、真冬の格好で日本一の出荷量を誇る『ニラ』の荷姿を一箱ずつチェックする様子などを見学しました。たくさんの質問が飛びだし、時間が押してしまうほどの熱心な研修となりました。次の研修先は、全国的にも注目されている地方市場（株）赤岡青果市場の視察。女性の大先輩でもある会長の水田幸子さんから、貴重なお話しをいただきました。

野市でお勧めのランチを堪能した後は、この日のメイン研修、花き（トルコギキョウ・ブプレウラム、ヒマワリなど）を栽培するMさんのほ場視察。今年は、新たにハウスも建て、常時雇用の確保も行き、経営者としてもご主人と頑張っており、そんな仲間が、いつも以上にキラッと輝いて見えました。最後の研修メニューは、Mさんがつくったトルコギキョウや、花き農家のお仲間が提供してくれた花々で、『フラワーアレンジメント』をしました。

優雅な気分で…と言うよりは、かなり真剣な眼差しで、この日一番の“静寂”が流れました。ちょっと無理してでも時間を作って、仲間達と集うことは、『何万倍もの元気と勇気』をもらえ、また、仕事に向き合える。女性リーダーの果てしないPowerに万歳！！です。



平成23年度は、上記のような執行体制で運営いたします。





『嶺北地区農村女性リーダー地区交流会』

嶺北地区 澤田 智恵

7月5日、農村女性リーダーの交流活動として、農村女性リーダーの仲間、渡辺薫さんが営んでいる大豊町の梶ヶ森のふもとの「農家民宿&カフェ LEBEN」を訪問しました。

当日は、梅雨のあいまの晴天日となり、相乗りの車の中は久し振りにあったリーダー達の話し声、笑い声で大いに賑やかな道中となりました。曲がりくねった木々の中をくぐり抜け標高が高くなるとともに、点在する家が新緑に映え、日頃の疲れが吹き飛ばすような爽快な気分になりました。

高速インターから30分で、間伐材を使って建てられたすてきなログハウスに到着。渡辺さんを囲んでリーダーの皆で再会を喜び合いました。ログハウスは、木の香りが漂う広々としたフロアと畳の間も備え、窓を開けると涼しい風と共に、栽培するセロリの香りが漂ってきて、とても爽やかな空間です。「今度は宿泊に来ようよ」と皆で話したことでした。

また、渡辺さんは、農業体験などの受け入れも行っており、世界的なWWOOF（ウーフ）に加入していることから、外国からの宿泊者も訪れており、娘さんの経営のもと7、8月の予約はいっぱいだそうです。

昼食は、れいほく八菜をはじめ土佐褐毛牛などを使った自慢料理一品を持ち寄り大賑わい。（持ち寄り料理のご紹介「彩どりピーマンのラッキョウ酢漬」「シトウのジャコ炒め」「ホウレンソウと春雨のサラダ」「土佐褐毛牛のたたき」「にこまるのおにぎり」「しばもち」「ちらし寿司」「ゴータチーズ」「米粉アイスメロンパン」「カッターチーズ&ポテト」など）

話しは新しい料理方法や栽培方法まで広がり、和やかななか、これからもリーダーで話しあい、教えあって元気にやっぴいこうと誓い合いました。

最後に、渡辺さんの夫が「この民宿をやって宿泊したいろいろな人達から話しや情報を聞くのが楽しい。これからも農業をやっぴい良かったという人生を送りたい。」といわれた言葉が心に残りました。



【編集後記】

今回のネットワーク通信から女性リーダー自身が発行することになり、編集作業を地区委員とパソコン同好会が行うことになりました。

夜な夜なスカイプでネット会議を重ね、最終はカラオケBOXで3時間の編集会議を経て発行の運びとなりました。ご意見ご要望などありましたらぜひお聞かせ下さい。

編集委員 西笛・能勢・島崎・松村

【お問い合わせ等は事務局まで】

高知県農業振興部環境農業推進課

Tel 088 (821) 4535

担当 武井

